

普及現地情報
令和8年2月19日
奥州農業改良普及センター
記述者 田口 礼人

電気柵の設置や維持管理を学ぶ 講習会を開催しました！

県南地域鳥獣被害防止現地対策チームでは、ニホンジカ等による農作物被害の防止を目的として「電気柵講習会」を2月10日（火）に開催し、水稻や果樹、畜産の生産者等51人が参加しました。

講習会では、農林水産省の農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーでもある、サージミヤワキ株式会社の菊池氏を講師に迎え、電気柵の設置と維持管理について、画像や動画、実際の部品を見ながらポイントを学びました。また、個別相談では7人の生産者から、電気柵の耐用年数や設置費用、一度に施工可能な距離などについて相談を寄せられました。

参加した生産者からは「かみ砕いた内容で理解しやすかった。」「動物によって電気柵の高さを変える必要があることが分かった。」「設置予定だったので、注意点等を聞いて良かった。」などの感想が聞かれました。

普及センターでは今後も、野生鳥獣による農作物被害の防止に向け、電気柵の設置等の取組を支援していきます。



講習会の様子



個別相談の様子